

バンカートスクール

2018年5月-9月 募集案内

会場: BankART Home (横浜市中区相生町3-61 泰生ビル1F)

時間: 19時30分~21時 (90分×8回) 定員: 16名

[5月-7月期]

月 | みかんぐみ

水 | 村田 真

木 | 鈴木理策

[7月-9月期]

月 | 今福龍太

8/7~11 | BankARTスクール in 妻有

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。と書いてから早14年。場所は「馬車道に残る歴史的建造物」から日本郵船の倉庫へ、そしていままた、関内の泰生ビルへと移りましたが、基本理念は変わっていません。

バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。

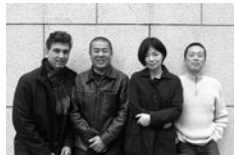
この13年の間に292講座、述べ894人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ4600人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

バンカートスクール校長 村田 真

月 19:30 - 21:00

みかんぐみ
「4人それぞれの切り口で見る
横浜の建築」

- ①5/21 ②5/28 ③6/4 ④6/11
⑤6/18 ⑥6/25 ⑦7/2 ⑧7/9



- ①5/21 加茂紀和子
②5/28 曾我部昌史
③6/4 竹内昌義
④6/11 マニエール・タルディッツ
⑤6/18 加茂紀和子
⑥6/25 曾我部昌史
⑦7/2 竹内昌義
⑧7/9 マニエール・タルディッツ

みかんぐみ | 加茂紀和子、曾我部昌史、竹内昌義、マニエール・タルディッツによる建築設計事務所。1995年NHK長野放送会館の設計を機に共同設立。戸建住宅から、保育園、グループホームやライブハウスなどの建築設計を中心に、家具、プロダクトやアートプロジェクトまで幅広くデザインを手がけている。

水 19:30 - 21:00

村田 真
「画家でたどる
日本の近代美術150年」

- ①5/23 ②5/30 ③6/6 ④6/13
⑤6/20 ⑥6/27 ⑦7/4 ⑧7/11



明治維新以来150年の歴史は、日本に近代美術がもたらされてからの年月でもありました。この間に日本はいかに近代美術を

受け入れ、発展してきたか。あるいは誤解し、奇形化してきたか。その150年の試行錯誤の過程を以下の美術家たちの活動を通して振り返ります。

- ①5/23 高橋由一と明治美術会
②5/30 横山大観と黒田清輝
③6/6 岸田劉生と萬鐵五郎
④6/13 藤田嗣治と新人画会
⑤6/20 岡本太郎と吉原治良
⑥6/27 河原温と赤瀬川原平
⑦7/4 もの派と川俣正
⑧7/11 村上隆とネオジャポニスム

むらた・まこと | 美術ジャーナリスト、画家。東京造形大学、慶応義塾大学、実践女子大学非常勤講師、BankARTスクール校長も務める。朝日新聞、北海道新聞、ウェブマガジン「アートスケープ」などに執筆。主な著書に『アートのみかた』、編書に『いかに戦争は描かれたか』（どちらもBankART1929）など。

木 19:30 - 21:00

鈴木理策「なぜ写真か？」

[ゲスト] 金川晋吾、三野新、多和田有希、新井卓、菅実花、鷹野隆大

- ①5/17 ②5/24 ③5/31 ④6/7
⑤6/14 ⑥6/21 ⑦7/12 ⑧7/26



写真というメディアを通して魅力的な作品を発表する現代作家をゲストに招き、それぞれのテーマと作家研究を行う。

全8回の内、ゲスト回は2回目～6回目、初回と最終回は鈴木が受講生の作品講評を行います。(初回は各自の写真作品を持参して下さい。)

- ①5/17 鈴木理策: 作品講評と課題提案
②5/24 金川晋吾(写真家) + 鈴木理策
③5/31 多和田有希(現代美術作家) + 鈴木理策
④6/7 新井卓(写真家/美術家) + 鈴木理策
⑤6/14 菅実花(美術作家) + 鈴木理策
⑥6/21 鷹野隆大(写真家) + 鈴木理策
⑦7/12 三野新(写真家) + 鈴木理策
⑧7/26 鈴木理策: 課題作品の講評

すずき・りさく | 写真家。1963年和歌山県新宮市生まれ。2000年に写真集『PILES OF TIME』で第25回木村伊兵衛写真賞受賞。写真集に『Water Mirror』(2017年)、『SAKURA』(2017年)、『Étude』(2017年)、『海と山のあいだ』(2015年)、『意識の流れ』(2015年)、『Atelier of Cézanne』(2013年)等。

月 19:30 - 21:00

今福龍太
「映画は闘いだった！」

- ①7/16 ②7/23 ③7/30 ④8/6
⑤8/20 ⑥8/27 ⑦9/3 ⑧9/17



第三世界映画とは、20世紀においては、国家や社会に蔓延する権威的暴力に対する、民衆の不断の闘いにほかならなかった。

いまやグローバルで消費主義的な娯楽産業へと突き進む

「映画」の、思想表現としての出自をふり振り返りながら、20世紀ブラジル映画の歴史を主たる素材として、映画という方法論の戦闘性と過激な批評性について問い直してみたい。テキストには今福龍太の新著『ブラジル映画史講義』(現代企画室)を用い、毎回、貴重な映画作品の参考上映を行う予定である。

いまふく・りゅうた | 文化人類学者、批評家。東京外国語大学大学院教授。巡礼型の野外学舎「奄美自由大学」主宰。著書に『クレオール主義』『ミニマ・グラシア』『群島-世界論』『レヴィ=ストロース 夜と音楽』『薄墨色の文法』『書物変身譚』『わたしたちは難破者である』『ハーフ・ブリード』など。

2018年8月7日(火)~11日(土)

BankART school in 妻有



合宿形式のゼミナール。

講師は村田真、開発好明、松本秋則、他(定員7名)

7日 朝横浜・東京出発→一部見学
8~10日 午前:ゼミ/午後:芸術祭見学/夜:ゼミ
11日 午前:芸術祭見学/午後→横浜・東京

参加費:60,000円(交通費+宿泊+ゼミ料金+飲食17食以上+パスポート+銭湯料金含む)

BankART妻有|7月29日(日)~9月17日(月)の51日間
詳細はBankARTのHPにて

お申し込み方法

- ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座12,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金が確認でき次第、手続き完了となります。
※一旦納入された受講料は返金できません。
※講座によっては別途材料費・資料代がかかる場合があります。
※申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ

BankARTスクール事務局
school@bankart1929.com
TEL 045-663-2812

BankART Home スタート!

営業時間:11:00~23:00(日曜定休)

BankART Studio NYK閉鎖に伴う引越の第一弾として、関内地区、相生町さくら通に小さなカフェスペースをオープンします。主にはアート系のブックショップですが、夜にはBankARTスクールが開かれたり、週末にはドリンク片手のリラックスしたスタイルのアーティストトークが行われます。海も風も広さもここにはないですが、ここはここで、何か新しい芽を生やすことができればと思っています。皆さん、お気軽に訪ねてみてください。

BankART Home

〒231-0012 横浜市中区相生町3-61 泰生ビル1F

